

- 架け橋期カリキュラム P30～
- アプローチカリキュラム P33～
(就学に向けての重点的取組)
- スタートカリキュラム P36～
(重点的に指導する生活習慣・学習習慣)

加美町の取組紹介

Q1 保幼小接続期カリキュラムの活用いつから取り組んでいますか？

加美町教育委員会では、保幼小のなめらかな接続」を目指し、令和元年度より保幼小接続期カリキュラムの活用に取り組んでいます。令和8年度からは「架け橋期カリキュラム」としました。



Q2 参考とした取組はあったのですか？

宮城県版「保幼小接続期カリキュラムの実践に向けて」を担当者で読み合うことから始めました。さらに、義務教育課指導主事及び宮城県幼児教育アドバイザー派遣研修会で紹介していただいた県内外で作成されたカリキュラムを参考にしました。

Q3 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

加美町の全ての保幼小の代表職員が参加する「加美町保幼小連絡協議会」を組織し、地区ごとに架け橋期カリキュラムを作成しています。就学に向けての重点的な取組をアプローチカリキュラム、入学してからの適応のための重点的取組をスタートカリキュラムとしています。なお、加美町には、2つの私立保育園、1つの私立幼稚園、1つの私立認定こども園、2つの町立認定こども園、6つの小学校があります。

Q4 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

- 1枚に構成した2年間のカリキュラムを把握し、「遊びから学ぶ」から「授業で学ぶ」が滑らかに接続できるようにします。
- 保育園やこども園では、カリキュラムを保護者に配布し、取組を説明しながら、保幼小のなめらかな接続に協力していただいています。
- 活用しながら改善点を検討し、年度末までに次年度用改訂版を作成します。

Q5 取組の成果はいかがですか？

- 架け橋期カリキュラムに基づいた保育・指導により保幼小のなめらかな接続が実現されています。
- 保幼小の職員や子どもの交流を多く設定したことで、互いの理解が深まり、送り出す側と受け入れる側の信頼感が一層増しています。

「アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組）」の保育例は、「育てほしい10の姿」を意識しており、園児が小学校生活に期待感や安心感を持つことができるような活動になっています。

アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組） 3

<保育例>

時計を意識して生活しよう

1 ねらい

- 1日の生活を
- 時計に関心を

2 保育の流れ

園児の

- 1 1日は、時間
過ぎていくこと

<朝>

- ・起床、洗面、
排便、登園

<昼>

- ・幼稚園、保育
遊び、制作

<夜>

- ・夕食、テレビ
鑑賞、就寝

- 2 家や幼稚園、
があることに
あるのかを考

- 3 大まかな時間
朝：起床、食
昼：活動、昼
夜：食事、入

- 4 起きてから寝
の動きを確認する

アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組） 1

<保育例>

自分の名前の読み・書きをしてみよう

1 ねらい

- 1つの音が、1つの文字に対応していることを知り、自分の名前を書く。
- 文字に関心をもち、

2 保育の流れ

園児の活動	保育教諭の援助・配慮事項	備 考
1 自分の名前を文字に表すことを知る。	○名前の見本を見せる。 ・名前を言いながら指を折って知らせる。 ・「かみ はなこ」は、5文字だね。	
2 自分の名前の文字が何文字か、名前を言いながら指を折って数える。	○一音一字に気付かせ、園児の名前が何文字になるか、ゲーム感覚で確認する。	提言1
3 自分の名前の手本を見て、声を出しながら一字一字を指と声で確認する。	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">か み は な こ</div> <div style="margin-right: 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 100px;"></div> </div>	
4 手本を指と鉛筆でなぞる。 (1) 手本を指でなぞる。	○指と声が合っているか、確認する。 ○人差し指で、ゆっくりと「止め」「はね」「はらい」を練習する。	提言1
(2) 手本を鉛筆でなぞる。	○鉛筆を正しく持っていることをほめ、今後の意欲につなげる。 ○園児の実態に合わない場合は、「自分の名前を読む」ことに替える。	提言2

「アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組）」の保育例は、「育てほしい10の姿」を意識しており、園児が小学校生活に期待感や安心感を持つことができるような活動になっています。

アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組） 6

<保育例>

ボールで遊ぼう

1 ねらい

- ドリブルをしたり、お友達とボール遊びをする。
- ルールを守り、みんな

2 保育の流れ

園児の活動
1 本日のボール遊びのルールを知る。
① かごから10メートル離れた所にスタートを引く。(子どもの実態による。)
② スタートの合図で走り出し、シュートからボールをかごに入れる。
③ 帰りは、ボールを蹴り、次の走者を待たせる。
2 チームに分かれ、お友達と並ぶ。
3 ゲームをする。
4 勝ったチームは、お友達と喜びを分かち合う。

アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組） 4

<保育例>

マナーを守って給食を食べよう

1 ねらい

- 食事のマナーが分かり、決められた時間内に食事ができる。
- 楽しく給食を食べる。

2 保育の流れ

園児の活動	保育教諭の援助・配慮事項	備考
1 決められた時間を意識して、給食を食べることができる。 ○グループを作る	○グループで食事することを伝える。 ○準備、食事、片付けなど、一連の流れの中で食事することを伝える。 ○実態に応じて時間を意識して行動できるようにする。 ○ハンカチはポケットに入れておくように知らせる。	提言1
2 給食の準備をする。 ① 手洗い ② 身支度 ・給食着を着る ・帽子をかぶる ・マスクをする ③ 担当の品を配る ④ 自分の給食を準備する。	○給食での約束を守ることができるようにする。 <当番の園児> ・素早く着替える 等 <待っている園児> ・手洗い後は、静かに待つ 等	提言1
3 給食をいただく。 ① 「いただきます」の挨拶をする ② 食事をする ③ 「ごちそうさまでした」の挨拶をする	○給食を作ってくくださった方への感謝の気持ちを伝える。 ○いろいろな品を食べることができるように言葉掛けをする。 ○食事のマナーを知らせる。 ・大きな声を出さない ・立ち歩かない ・正しい姿勢と箸やスプーンの持ち方	提言1
4 片付けをする。	○きちんと片付けたことをほめ、今後の意欲につなげる。	提言2

町で設定している幼児期に育ってほしい力である「聞く力」「考える力」「話す力」を向上させるために、宮城教育大学上廣倫理アカデミーと連携しp4cを保育に取り入れています。

アプローチカリキュラム（就学に向けての重点的取組） 7

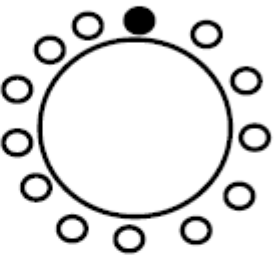
<保育例>

p4cを楽しもう

1 ねらい

○p4cを楽しんで、「人の話を聴く力」「自分の思いを伝える力」「自分をコントロールする力」を伸ばす。

2 保育の流れ

園児の活動	保育教諭の援助・配慮事項	備考
<p>1 輪になって座る</p> <p>2 p4cで頑張してほしいこと「聴くこと」「考えること」「話すこと」であることを知る。</p> <p>3 p4cの4つのルールを知る。</p> <p>①ボールを持った人だけが話せる ②まだ話していない人にボールを渡す ③話せない時はパスができる ④友だちが嫌がることは言わない</p> <p>4 ウォームアップを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミステリーバッグ ・ホットシート ・スピードボール ・どっちが好き 等 <p>5 問いを選ぶ</p> <p>6 ルールを確かめる</p> <p>7 対話をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれた問いを立てた人から始め、対話を進め、考えを深めていく <p>8 振り返りをする</p>	<p style="text-align: center;">保育教諭</p>  <p>○「聴くこと」が最も大切にすることを強調することで「安全と安心」（セーフティ）な環境づくりに努める。</p> <p>○コミュニティーボールを事前に子どもたちと一緒に作成しておく。</p> <p>○理由をつけて話をするようにさせる。</p> <p>○日頃から子どもたちの「不思議なこと（ワンダー）」を集めておく。</p> <p>○「どういう意味？」「なぜそう思うの？」「それって当たり前？」「もしも～なら～になる？」「本当にそうかな？」「例えば？」「でもこういうこともある？」等と切り返して、対話が深まるようにする。</p>	<p>提言1</p> <p>提言1</p> <p>提言2</p>

【参考】「探究の対話（p4c）はじめてみませんか？」

「p4cキッズステップ～小さな子どもたちのためのp4cレッスン」

宮城教育大学 上廣倫理教育アカデミー

スタートカリキュラム（重点的に指導する生活習慣・学習習慣）

4月の第1週目は、幼児期からの学びと育ちを生かす活動を取り入れるなど、児童が安心して小学校生活をスタートできるような工夫をしています。児童の集中できる時間や意欲の高まりを大切に、10～15分程度の短い活動を位置づけています。

スタートカリキュラム 4月第1週実施計画

宮崎小学校

1 ねらい

幼児期と小学校教育との接続を進め、児童が安心して学校生活をスタートできるように活動を工夫する。

2 活動内容

(1) 入学時適応指導の例

	1日目	2日目	3日目	4日目
	学級活動	算数	国語	国語
1 校 時	「1ねんせいになつて」 ・挨拶・返事の仕方 ・小学校での主な学習内容や行事	「なかまをつくろう」 ・算数ボックスの出し入れ ・教科書の使い方	「みんなのせかい」 ・挿絵から、見つけたことや気付いたことを話す。	「図書室をのぞいてみよう」 ・図書室での過ごし方 ・読み聞かせ
	国語	生活	学校行事	書写
2 校 時	「名前を書こう」 ・鉛筆の持ち方 ・本の置き方、持ち方、開き方 ・読み聞かせ	「みんなががっこうをあるこう」 ・いろいろな教室や場所があることを知る。	身体測定・聴力検査 ・正しい検診の受け方を知り自分の体について理解する。	「しせいともちかた」 ・いろいろな線をかき、運筆になれる。
	生活	体育	児童会	音楽
3 校 時	「がっこうにいこう」 ・登下校の安全 ・正しい歩行の仕方	「遊具の遊び」 ・着替え方・並び方 ・集合の仕方 ・遊具の使い方	「はじめまして集会」 ・縦割り班の顔合わせを行う。簡単なゲームをして異学年交流を楽しむ。	「うたでさんぽ」 ・友達と楽しく歌う。 ・手遊び ・リズム遊び
	学級活動	学級活動	算数	学級活動
4 校 時	「初めての給食」 ・給食の準備 ・身支度の仕方 ・配膳・下膳の仕方	「みんなの約束」 ・学校で守るべきルールを理解し、守ろうとする気持ちを持たせる。	「くらべよう」 ・1対1対応で数を比べる。 ・おはじきやブロックの使い方。	「じしんがおきたら」 ・安全な避難の仕方 ・避難経路の確かめ

☆日常的な生活指導は、実態に応じて随時行っていく。

(2) 幼・保・小交流会

○1年生「新しい1年生を招待しよう」

・みやざき園の年長児を小学校に招き、授業見学と園児・児童との交流活動を行う。

小学校の環境（人・もの・こと）に慣れるための学習は、具体的な活動や体験を通して身に付けることができるようにしています。

スタートカリキュラム（重点的に指導する生活習慣） 2

<指導例>

元気な声で挨拶をしよう

1 ねらい
○朝や帰りの挨拶の仕方

2 指導の流れ

児童の活動

1 朝の挨拶の仕方
○実際に行う。
・日直と子ども
・子ども同士
・子どもと先生

2 帰りの挨拶の仕方
○実際に行う。
・日直と子ども
・子ども同士
・子どもと先生

3 気持ちのよい挨拶を考える。
・大きな声で
・笑顔で
・相手の顔を見て
・礼をして 等

4 挨拶ごっこをする。

5 その他の挨拶を知

スタートカリキュラム（重点的に指導する生活習慣） 1

<指導例> 1

整理整とんをしよう

1 ねらい
○ロッカーや机の中を自分で整理整とんすることを学び、練習する。

2 指導の流れ

児童の活動	教師の援助・配慮事項	備考					
<p>1 朝登校したら</p> <p>(1) ランドセルの中から、学習用具・教科書・ノート等を取り出す。</p> <p>(2) 道具箱に教科書やノート学習用具等を入れる。</p> <p>(3) 空になったランドセルをロッカーにしまう。</p> <p>(4) 上着、上靴入れ等は、物掛けフックに掛ける。</p>	<p>○どのように入れるとよいか、図を使って示す。 <机の中の例></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">教科書 ノート</td> <td style="text-align: center;">ふ で ば こ</td> <td style="text-align: center;">のり はさみ 等</td> </tr> </table> <p>○1時間目から順に重ねておく。終わった教科書は、一番下へ入れる。</p> <p>○ロッカーの中へランドセルをしまうが、同時にロッカーや物掛けフックの使い方も指導する。 <ロッカーへのしまい方の例></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランドセル</td> <td style="text-align: center;">鍵 ハ モ カ 等</td> </tr> </table>	教科書 ノート	ふ で ば こ	のり はさみ 等	ランドセル	鍵 ハ モ カ 等	提言1
教科書 ノート	ふ で ば こ	のり はさみ 等					
ランドセル	鍵 ハ モ カ 等						
<p>2 下校前</p> <p>(1) ランドセルに机の中の物をしまい、お道具箱を机の中へしまう。</p> <p>(2) 上着等をフックから机上に持ってくる。</p>	<p>○お道具箱はロッカーへしまわせ、机の中は空にさせる。</p>	提言1					
<p>3 まとめ</p> <p>(1) 登校してから下校するまでの一連の流れを行う。</p> <p>(2) できたことを確認し合う。</p>	<p>○上手にできている子どもを紹介する。</p> <p>○物の置き場所を確認しても、自分でできるようになるまでは、教師の方で声掛けする。</p>	提言2					

備考欄に「提言1」「提言2」が記載されており、教師が積極的に児童に声を掛けたり、ほめたり、児童の声に耳を傾けたりすることで、児童が安心感や自信をもって取り組めるようにしています。

スタートカリキュラム（重点的に指導する学習習慣） 5

<指導例>

鉛筆を正しく持って書こう

1 ねらい
○鉛筆を正しく持つ

2 指導の流れ

児童の活動

1 正しい鉛筆の持ち方

2 鉛筆を正しく持つ。
(1) 教師の説明を聞く

(2) 正しい鉛筆の持ち方を見て、鉛筆を持つ

3 線を書いて、鉛筆の持ち方を慣れさせる。

スタートカリキュラム（重点的に指導する学習習慣） 4

<指導例>

集中して学習に取り組もう

1 ねらい

○45分間の大きな授業の流れを説明し、集中して学習に取り組もうとする意欲を高める。

2 指導の流れ

児童の活動	教師の援助・配慮事項	備考																														
1 学習の時間について知る。 ○月・火・水・木・金 → 5時間 ○1コマ → 45分間	○一週間の時程表を提示し、1日5時間、1コマの授業は45分であることを伝える。 <div style="text-align: center;"> <p><週時程表>例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> </div>	月	火	水	木	金	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	
月	火	水	木	金																												
1	1	1	1	1																												
2	2	2	2	2																												
3	3	3	3	3																												
4	4	4	4	4																												
5	5	5	5	5																												
2 1時間の大きな授業の流れを知る。	○教科によって違うが、ほとんどは次のような授業の流れになっていることを伝える。 ↓・課題把握→ 勉強することは何かをつかむ ↓・課題解決に向けての取組→ 一人で、みんなで ↓・まとめ→ 学習して分かったことをまとめる																															
3 授業に集中して取り組むにはどうすればよいか考える。	○子どもたちに自由に発表させる ・席を立たない。 ・おしゃべりをしない。 ・よく考える ・姿勢をよくする 等	提言1																														
4 授業中の約束を考える。	○学級の実態にあった約束事にする <div style="text-align: center;"> <p><授業中の約束>例</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・授業中は、必要なとき以外は、席を立たない</td> </tr> <tr> <td>・授業中は、関係のないおしゃべりはしない等</td> </tr> </tbody> </table> </div>	・授業中は、必要なとき以外は、席を立たない	・授業中は、関係のないおしゃべりはしない等																													
・授業中は、必要なとき以外は、席を立たない																																
・授業中は、関係のないおしゃべりはしない等																																
5 まとめ	○学級の約束事を守り、集中して学習に取り組もうとする意欲を高める。	提言2																														

入学した直後に1年担任のファシリテータで幼児期に経験したp4cを行うことで、学級の中にセーフティが生まれ、思いやりやコミュニケーション力の向上が期待されます。

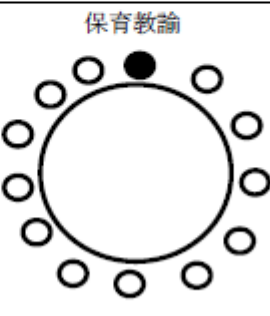
<指導例>

p4cで対話を楽しもう

1 ねらい

- p4cで対話を楽しみ、「人を大切にする力」「自分の考えを持つ力」「自分を表現する力」を高める。
- p4cを通して、望ましい学級集団の構築を図る。

2 指導の流れ

児童の活動	教師の援助・配慮事項	備考
<p>1 輪になって座る</p> <p>2 p4cで頑張してほしいこと「聴くこと」「考えること」「話すこと」であることを知る。</p> <p>3 p4cの4つのルールを知る。</p> <p>①ボールを持った人だけが話せる</p> <p>②まだ話していない人にボールを渡す</p> <p>③話せない時はパスができる</p> <p>④友だちが嫌がることは言わない</p> <p>4 ウォームアップを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミステリーバッグ ・ホットシート ・スピードボール ・どっちが好き 等 <p>5 問いを選ぶ</p> <p>6 ルールを確かめる</p> <p>7 対話をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選ばれた問いを立てた人から始め、対話を進め、考えを深めていく <p>8 振り返りをする</p>	<p style="text-align: center;">保育教諭</p>  <p>○「聴くこと」が最も大切にすることを強調することで「安全と安心」（セーフティ）な環境づくりに努める。</p> <p>○コミュニティーボールを事前に子どもたちと一緒に作成しておく。</p> <p>○理由をつけて話をするようにさせる。</p> <p>○日頃から子どもたちの「不思議なこと（ワンダー）」を集めておく。</p> <p>○WRAITEC(ライテック)を使って対話が深まるようにする。</p> <p>「どういう意味?」「なぜそう思うの?」「それって当たり前?」「もしも～なら～になる?」「本当にそうかな?」「例えば?」「でもこういうこともある?」</p> <p>○振り返りの主な観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話をよく聴いたか ・よく考えたか ・自分の思いを話したか ・またp4cをやりたいか 	<p>提言1</p> <p>提言1</p> <p>提言2</p>

【参考】「探究の対話（p4c）はじめてみませんか？」 宮城教育大学 上廣倫理教育アカデミー